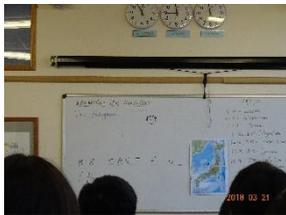


チェルムスフォードの風 in 2018

(6日目)

澄んだ青空の朝です。いつものようにチェルムスフォード駅に集合します。私たちが毎日乗る電車はどうやらロンドン方面へ向かう始発のようです。改札の通り方、プラットフォームでの立ち位置、電車の乗降などにも慣れてきました。

毎朝、その日の時間割を Stella 先生がホワイトボードに書いてくださいます。温かい心遣いがありがたいです。さっそくボキャブラ



リークイズの定番 hangman から始まりました。

答えの chrysanthemum を日本語で菊というのを初めて知った人も多かったみたいでした。穏やかな雰囲気のまま授業は、スピーチに進みます。今日のテーマは、イギリスの住宅、落語、大阪弁、コイン

など昨日同様バラエティーに富んだ内容でした。柔道がテーマの時に、Stella 先生から「柔道と空手は何が違うの？じゃあ合気道は？」の質問にうまく説明できずもどかしそうにいた生徒も見受けられました。



2回目の integration は、Art (2クラス)、Drama, Music, Technology の4種類5グループです。生徒たちは関心のあるものを選びました。Art の授業はそれぞれ昆虫の標本をスケッチと模写をする内容でした。「Art に集中できる環境でした」(生徒より)。



Drama の授業は、「ロボット」をテーマにグループごとに演じるという内容で、各グループの個性ある発表が面白かったです。「皆恥ずかしがらず演じていて、クオリティーが高すぎる。日本にもぜひ取り入れてほしい科目」(生徒より)。

Music の授業は、作曲と演奏の2種類がそれぞれ別の部屋で同時進行で行われており、中等生は楽譜を渡されピアノの演奏をしていました。Technology の授業は、照明の設計図を書きました。「違う文化を持つ人と意見を交わしながら設計するのは楽しかった」(生徒より)。

15分の休憩の後は、3回目の integration です。Citizenship, Religious studies, math(3

クラス)の3種類5グループで、こちらも生徒たち自身で選びました。Citizenshipの授業では、ニュースの動画を見ての話し合いです。「日本語でも難しいのに、英語では本当に難しかった」(生徒より)。Religious studiesの授業では、メディアの宗教に対するよりポジティブな伝え方を学びました。「宗教の科目は日本にないので難しかったけど、なんとかついていこうと頑張った」(生徒より)。Mathの授業では、散布図、2元一次方程式、連立方程式などを英語で学習しました。「日本語で知っているはずなのに、英語だと難しく感じた」「AESの生徒たちの表情が日本と比べるととても豊かだった(わかったときや、わからないときなど)」(生徒より)。

生徒たちはintegrationを通じて、戸惑いながらも多くの刺激を受け、様々な感想を抱いたようです。その素直な気持ちは次のintegrationあるいは、これからの学習にきっと活かされることでしょう。

integrationの後はランチタイムです。現地の生徒と2時間連続の授業に集中力を発揮したので、ランチもさぞおいしかったことでしょう。外でフットボールに汗を流すなど、それぞれに楽しむ様子があちらこちらで見られます。



午後はStella先生の英語の授業です。一人ずつ与えられたテーマについて即興で話し、それについてお互いに意見を言い合う「話す」ことを重点的に行いました。テーマの内容は、最近学んだ表現、英語か中国語のどちらを学ぶべきか、携帯電話に頼りすぎているかどうか、家事は分担するべきか、AESと中等のちがひ、など自分の意見をしっかり持っていることが前提の話題が多かったように感じます。前に立って話すことはもちろん、意見を積極的に言おうとする姿はパワーアップしています。最後に、フェアウェルパーティーの招待状の作成をしました。基本の英文はあるものの、みなホストファミリーの顔を思い浮かべながら、一生懸命に作成していました。

早いものでイギリスに来て約1週間。6日間あるAESでの研修も今日で折り返しです。疲れもたまってきた頃ではないでしょうか？おいしい、おいしいと言いながらもそろそろ日本の味が恋しくなる頃でしょうか？(おせんべいを食べている生徒があまりにも幸えそうに食べていたので。。)何はともあれ、明日もみんな元気に頑張れますように！！